



そらぐみだより

社会福祉法人 八重福祉会
こちのくに保育園

令和7年3月10日発行

少しずつ寒さもやわらぎ、心地よい季節になりました。子どもたちは自分で持ち物の支度をしたり、食事の準備をするなかで、出来ることがどんどん増えていく姿に感動する毎日でした。遊びの中では、「一緒に遊ぼう」「後で貸して」、「ごめんね」「ありがとう」と恥ずかしがりながらも言葉で伝え合う姿も見られるようになりました。この一年を振り返ると、子どもたちからたくさんのパワーをもらい、たくさんの思い出を子どもたちと一緒につくることができました。保護者の皆様には温かいご支援をいただき、ありがとうございました。

そら組 担任 澤嶋 泰輝 前原 美奈子



～ まだまだ色々なことに挑戦しています！～



【かずの木】

穴の数、長さの違う積み木（かずの木）を使って、遊びながら、数量や図形に慣れ親しんでいます。

【体操あそび】

簡単なルールのある遊びや身体の使い方を意識した遊びを楽しみながら取り組んでいます。



プライベートゾーンについて話し合ってみました！



子ども同士の関わりが増えていくなかで、ふざけてお尻を叩いたり、「見せて」と

パンツのなかを覗いたりとする姿が増えてきました。そこで、「自分の体は自分のもの。」

体のどこも大切なところだけど、特別大事なところはどこかな?と

絵本を用いてプライベートゾーンについて話し合いました。

プライベートゾーンを触ったり見たりしていいのは、自分だけ。

もし、誰かに触られたり、見られそうになったりした時は、「嫌だ！」としっかり言おう

と伝えています。「性教育」と構えるとハードル上がってしまいがちですが、

「だいじだいじ」という声掛けで自分の体が大事であることをご家庭でも

お子さんと一緒に考えてみるキッカケになってくれると嬉しいです。

